

設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	367	225	79	0	4	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	371	224	73	4	3	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	403	197	69	2	4	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	352	217	99	4	3	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	300	251	115	8	1	4.2

総平均 4.4

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~

この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。

質疑や課題に対するフィードバックがあった。

1. 授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。 (平均: 4.4)

2. 授業の説明は判りやすかった。 (平均: 4.4)

3. 授業に対する教員の熱意を感じた。 (平均: 4.5)

4. あり。 (平均: 4.3)

5. あり。 (平均: 4.2)

設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	317	268	86	2	2	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	266	262	139	7	1	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	54	89	114	182	236	2.3

2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。

議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。

この授業一回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

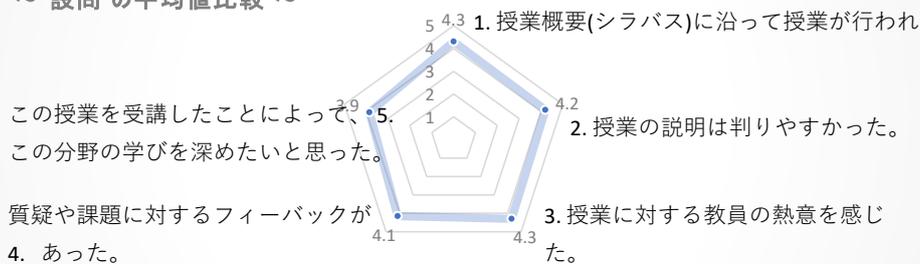
5... 4... 3... 2... 1...

5 4 3 2 1

2時間... 1時間以上... 1時間... 30分程度 全く...

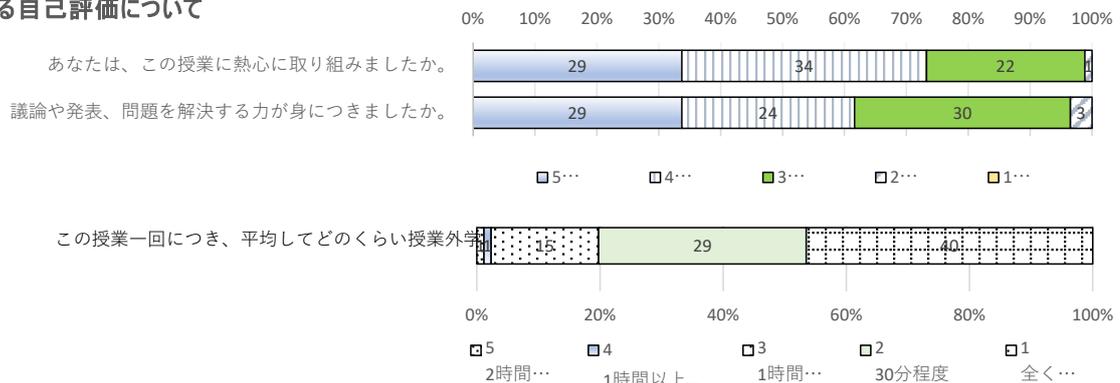
設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	43	30	13	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	41	28	15	2	0	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	45	27	13	1	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	39	26	20	1	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	28	26	27	5	0	3.9
総平均							4.2

1. 授業について ~ 設問の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	29	34	22	1	0	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	29	24	30	3	0	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	15	29	40	1.7

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

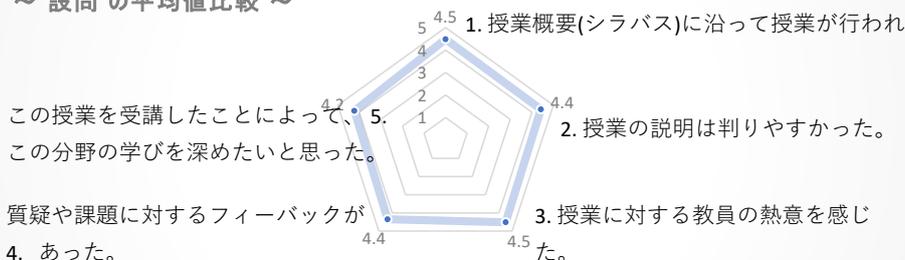
幼児保育学科1年生95名の内、87名のアンケート回収(92%)であった。すべて対面の90分授業であった。使用テキストが大幅改定となり、手探りしながらの講義であった。講義プリント及びパワーポイントによる授業で、毎時間、その日の重要ポイントを課題としてレポートにまとめさせたり、スマホを活用して調べさせたりして、その提出を評価の重要な柱とした。タイムリーな新聞記事、具体的な事件を、取り上げ、グラフや表を用いて説明したが、なかなか学生の興味を引く内容とするのが難しかった。定期試験の結果を見ても、学習内容を理解しているとは言いがたい学生も多かった。将来、教育者の一員として社会に出るにあたって最低限の教育界の知識を持って欲しいと願い、時事問題や最新のニュースに触れつつ、公的機関のホームページや、分かりやすい図表なども用いて、興味を持ってもらえる内容を工夫した。

②課題と展望(授業改善方針)

定期試験の結果を見ても、基礎的な知識すら定着していないと痛感している。前年度の反省を踏まえ、教科書の重要な部分にしぼって、深みのある内容を工夫したが、グループ協議などの機会は少なかった。時事問題にも触れつつ、さらに記憶に残るよう工夫したい。資料も、ただ見せるだけでなく、自分から調べさせるなど、行動を伴うような形式を工夫したい。

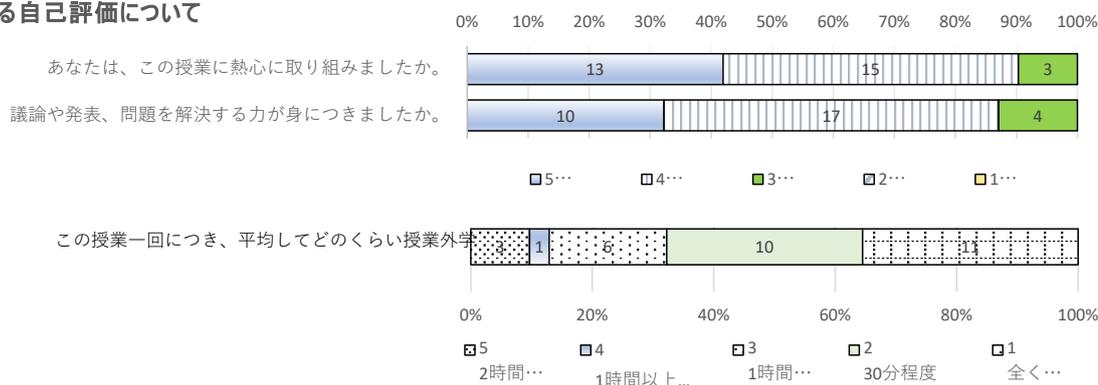
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	17	12	2	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	17	10	4	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	18	11	2	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	15	12	4	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	12	14	5	0	0	4.2
総平均							4.4

1. 授業について ~ 設問の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	13	15	3	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	10	17	4	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してい ない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	1	6	10	11	2.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

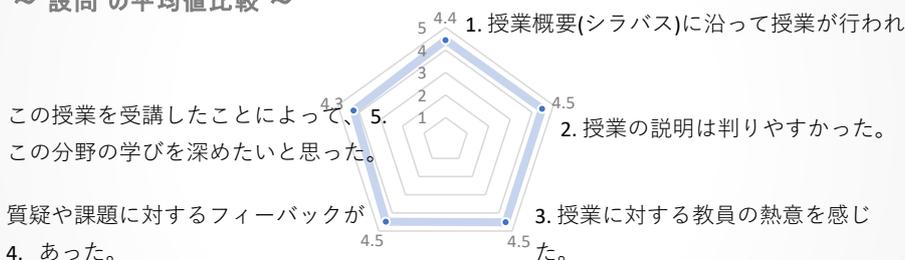
多くの学生が、子どもの食と栄養の授業を通して、理解を深めることができた様子が伺えました。

②課題と展望(授業改善方策)

子どもの食と栄養の授業を通して、学生が食に興味関心を持ち、子どもや家族の健康にも配慮できる食生活を送れるように授業を進めていきたいです。座学に加え、実習や演習も行い、理解を深めていきたいです。また、食のマナーを身につけ、自然な振る舞いで子どもに伝えられるように、授業の中でも促していきたいと思います。また、食のマナーを身につけ、自然な振る舞いで子どもに伝えられるように、授業の中でも促していきたいと思います。

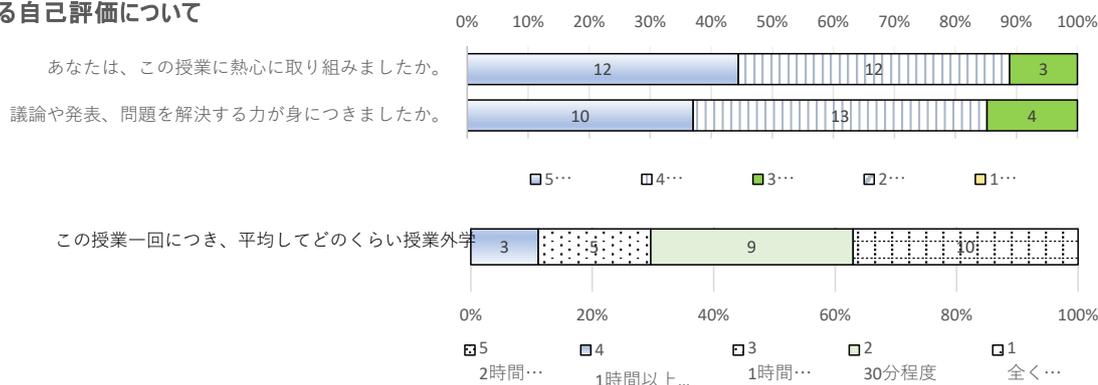
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	15	9	3	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	15	10	2	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	17	7	3	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	16	8	3	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	11	12	4	0	0	4.3
総平均							4.4

1. 授業について ~ 設問の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	12	12	3	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	10	13	4	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してい ない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	3	5	9	10	2.0

2. 学習に対する自己評価について



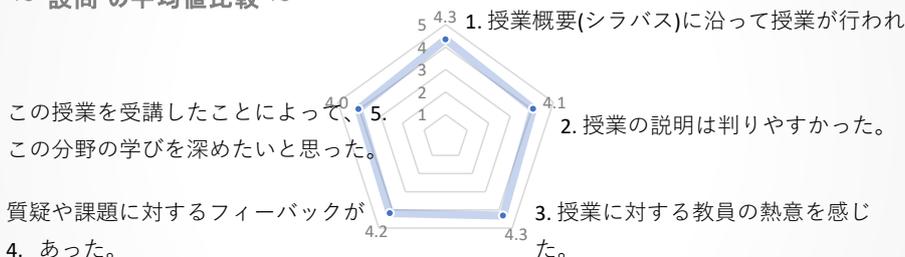
アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
 当該科目は保育内容の中の領域健康に関する科目であり、学生は前期の「健康」での学びをもとに保育における指導法を考え、子どもの健康な育ちを援助する保育の在り方を探っていく。その方法として、学生による模擬保育を中心とし、他者の前で発表することやグループワークを多く取り入れた授業を実施した。アンケートの結果をみると、殆どの学生が授業に熱心に取り組んでいる状況がうかがえる。これは、模擬保育に向けて指導案を書いたり、発表に向けて調べたり、準備したりと、学生が主体的に授業に取り組めるような授業となっているためと考える。一方で、授業外学習時間をみると、全くしていない学生が約40%と多くみられた。このことから、模擬保育に向けての指導案作成や準備を一部の学生が行っていることが予想された。

②課題と展望(授業改善方策)
 アンケートの回答者数が非常に少なかった。これは、授業時間内での伝達を失念しており、ポータル等で回答を促したためである。授業内で本アンケートの意味を説明し、回答を求める必要がある。
 授業外学習時間の確保が大きな課題となった。これに向けては、①模擬保育やグループワークの際、学生間の役割分担を明確にする、②次回の授業テーマと課題を提示する、③予め個々が取り組んだ課題を持ち寄って作業していく授業を工夫することの3点を行い、授業外学習時間の増加を図ってきたい。

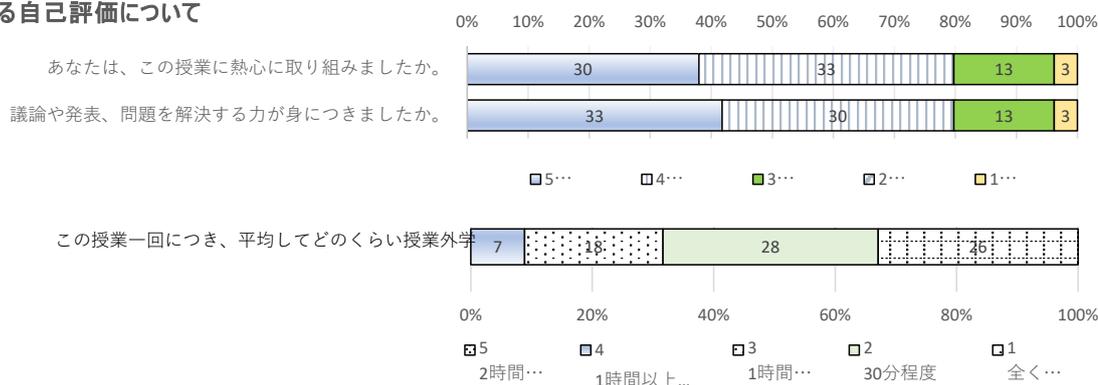
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	42	24	12	0	1	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	28	35	12	1	3	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	40	27	10	1	1	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	33	30	14	1	1	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	29	30	17	0	3	4.0
総平均							4.2

1. 授業について ~ 設問の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	30	33	13	0	3	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	33	30	13	0	3	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してい ない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	7	18	28	26	2.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

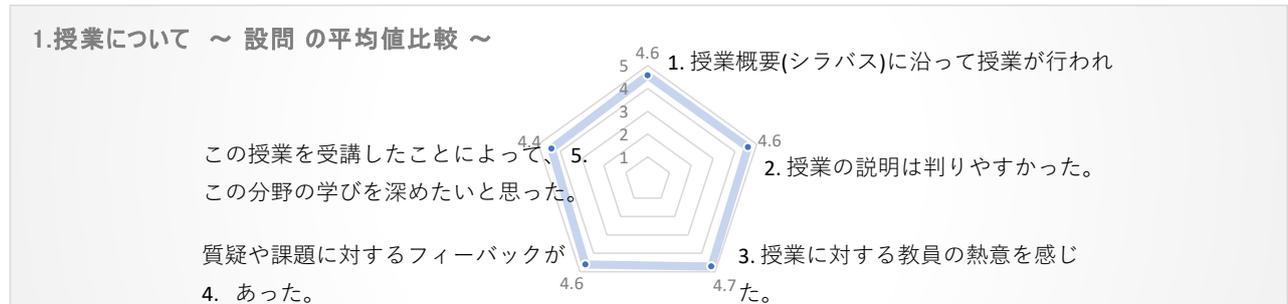
①現状(アンケート結果に対する考察)

幼児が周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていくことができるための指導力を身につけるという大きな目標のもと、前期に学んだ「環境」の授業を踏まえ保育の構想、学習理論、指導案の作成、模擬授業等に取り組んだ。アンケートの記述には、「模擬授業を行い振り返りレポートを書くことで、今後の自分の課題を明確にすることができた。各班が発表をすることで、こういう方法もあるのかと実践的に学べることができた。各班の模擬授業が印象に残りました。自分の模擬授業から課題が見つかり、他の子の授業からは自分に足りないものや参考にしたいことを見つけることができた。グループで、発表することによって自分の班はどのようなことが大切か理解することができた」という記述が見られ、学生の皆さんが授業力を身につけられたことをうれしく思います。

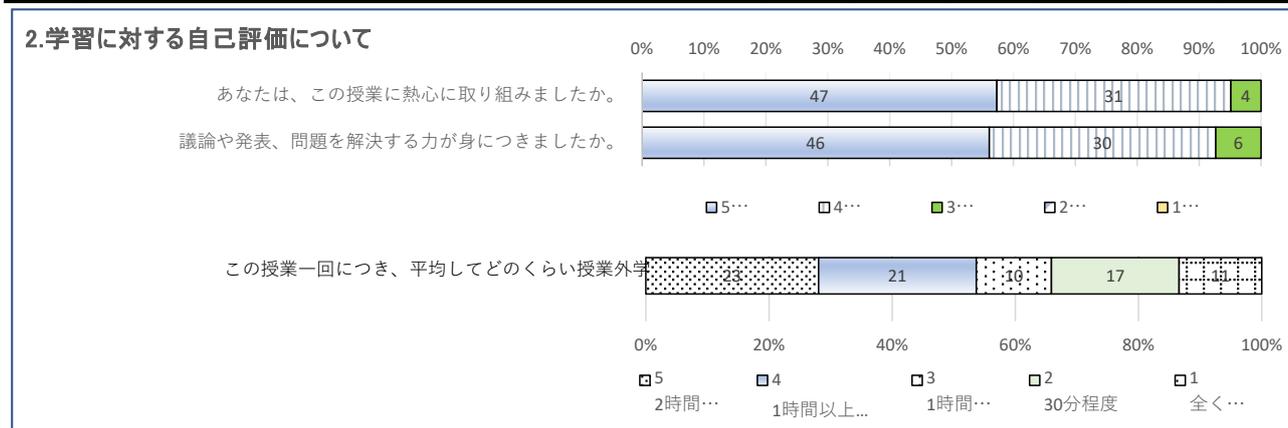
②課題と展望(授業改善方策)

授業方法として取り入れたことに対するコメントとして、「パワーポイントをホワイトボードに写し、そこに書き込むという授業をすることで、どのような指導のポイントがあるのか、とてもわかりやすく充実した授業であった。振り返りシートを、使って講義を受けることで自分がその日に何をしたのかなどを理解することができ、自分の頭の中で振り返ることができた。」という記述が見られた。学生の皆さんの声を聞きながら、さらによりよい授業の方法を工夫し、保育者として授業をすることの楽しさを実感できる授業改善を図りたい。

設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	53	23	6	0	0	4.6
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	52	27	3	0	0	4.6
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	61	19	2	0	0	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	55	22	5	0	0	4.6
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	41	33	8	0	0	4.4
総平均							4.6



設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	47	31	4	0	0	4.5
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	46	30	6	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	23	21	10	17	11	3.3

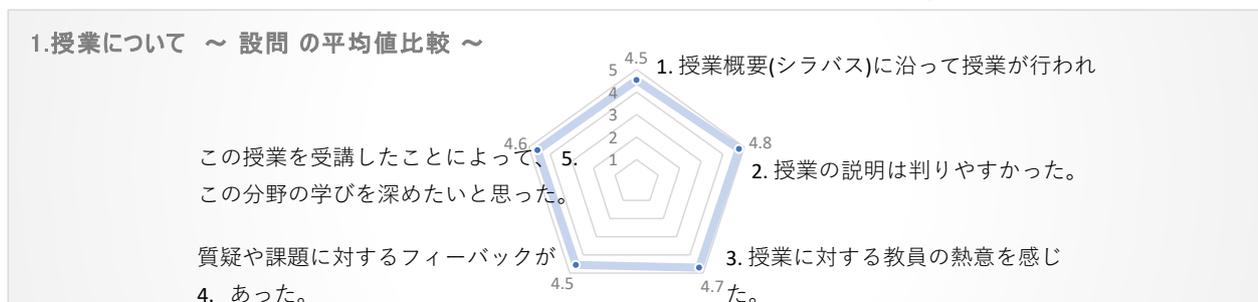


アンケートに対する教員所見

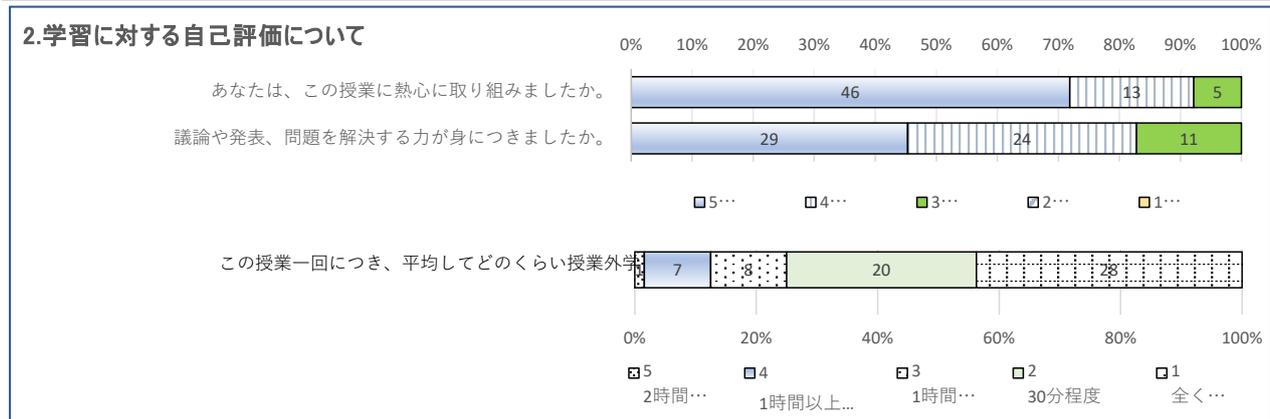
①現状(アンケート結果に対する考察)
 授業者として準備し、授業を展開した手ごたえについて、想定した結果にほぼ近い形となった。教材の製作やそれを使った発表が中心となるので、学生の印象も比較的強かったものとする。ただ、製作や発表に重点が置かれたため、その中で幼い子どもの言葉の育ちを支えるという中心的なねらいをさらに定着させる必要がある。

②課題と展望(授業改善方策)
 製作や発表の活動の後の振り返りやまとめ、またそのフィードバックに一層の工夫が必要である。ルーブリックなどを使った自己評価の導入について検討してみる。

設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	42	16	5	0	1	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	53	8	2	0	1	4.8
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	51	9	3	0	1	4.7
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	45	11	7	0	1	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	44	14	6	0	0	4.6
総平均							4.6



設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	46	13	5	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	29	24	11	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してい ない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	7	8	20	28	2.0



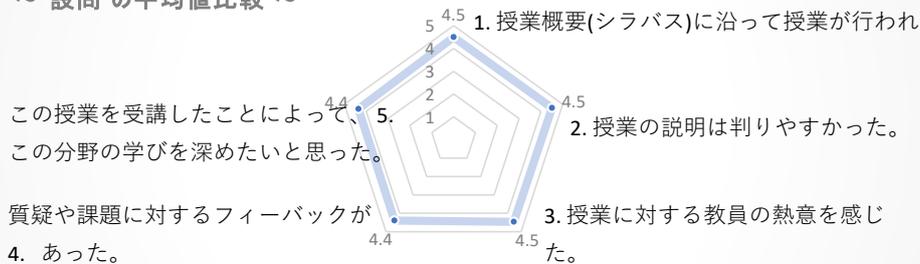
アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
 授業の進め方や内容理解に関する項目においては、おおよそ「5」「4」の評価があり、授業スライドや授業構造などの工夫が一つの成果であったと考える。1年生の造形活動に対する意識が基本的に高かったことも、授業の進めやすさや姿勢作りにつながっていた。全体的にフィードバックの時間が十分に取れなかったことが反省点であり、学生が活動に取り組む時間に対し、見直しや反省、議論の時間をどのくらいとるか、といった時間のバランスが課題だと考える。

②課題と展望(授業改善方策)
 学生の技能習得においては個々人が活動に集中する時間が不可欠である一方、議論や鑑賞の時間を通じたフィードバックの時間が少なくなってしまう点が課題である。そこで共同制作や鑑賞の時間を設けるなど、造形活動における学びを言語化して他者と共有する時間をこれまで以上に設ける必要がある。また、クエスタントを用いたフィードバックの取り組みも考えられる。

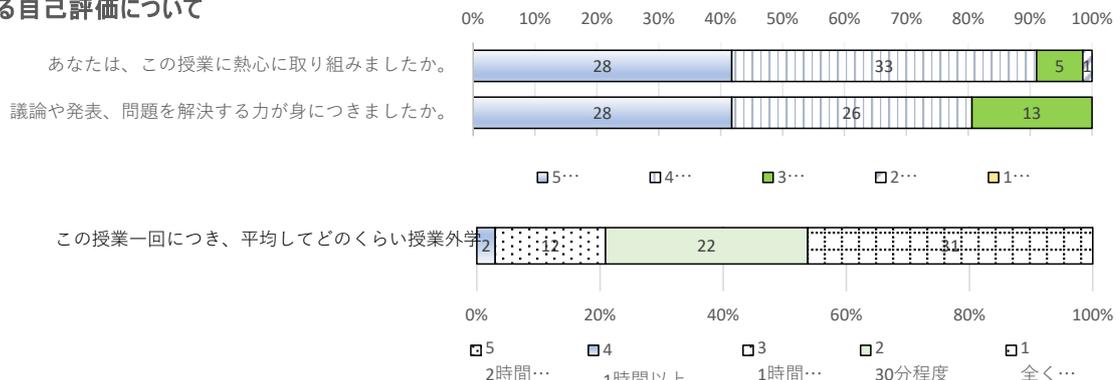
設問Ⅰ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	37	26	4	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	38	25	4	0	0	4.5
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	37	24	6	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	33	27	7	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	33	25	9	0	0	4.4
総平均							4.4

1. 授業について ～ 設問 の平均値比較 ～



設問Ⅱ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	28	33	5	1	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	28	26	13	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	2	12	22	31	1.8

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

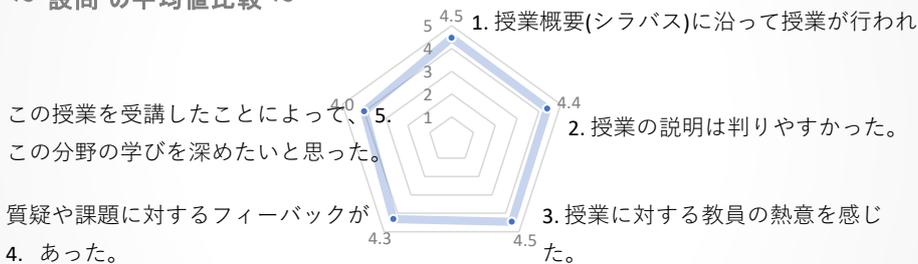
今年度は、通常通りに授業が実施でき、一人ひとり真剣に授業に望む姿勢がみられた。演習授業では、グループ毎に話し合い、協力しながら取り組む姿勢がみられ、人形を使用することで、子どもへの慈愛をこめた接し方や話し方を実践することができていた。振り返りテストや読み聞かせ、手遊びの発表機会を設けることで、より実践に近い形となるよう努めていった。

②課題と展望(授業改善方策)

今年度は、授業、演習も通常通り実施でき、一人ひとり十分な演習時間も確保できた。今後も実践により近い形での演習ができるよう取り組んで参りたい。授業時間外学習について、低い結果となった。昨年以上に振り返りテストの実施や、絵本の読み聞かせ、手遊びの発表等を実施したが、今後もさらに、授業内容の復習やグループ討議、発表の機会を設け、授業内容がより身につくことができるよう、強化して参りたい。

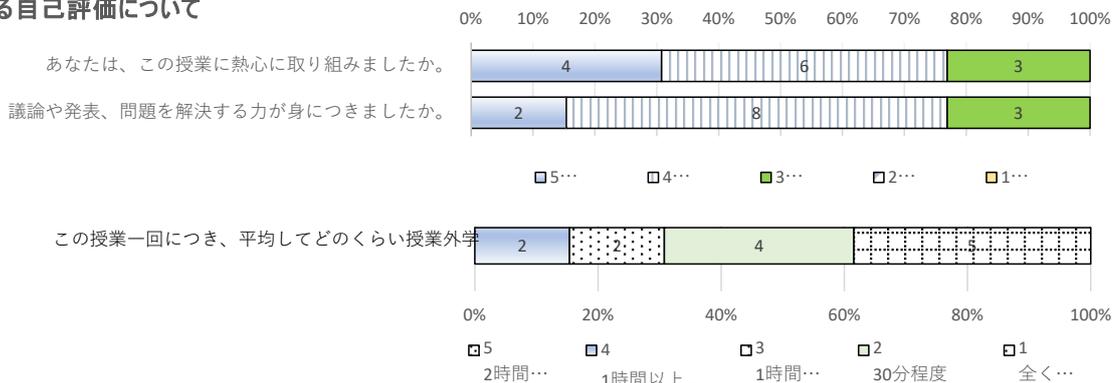
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	8	3	2	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	6	6	1	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	8	3	2	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	6	5	2	0	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	3	7	3	0	0	4.0
総平均							4.3

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	4	6	3	0	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	2	8	3	0	0	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	2	2	4	5	2.1

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

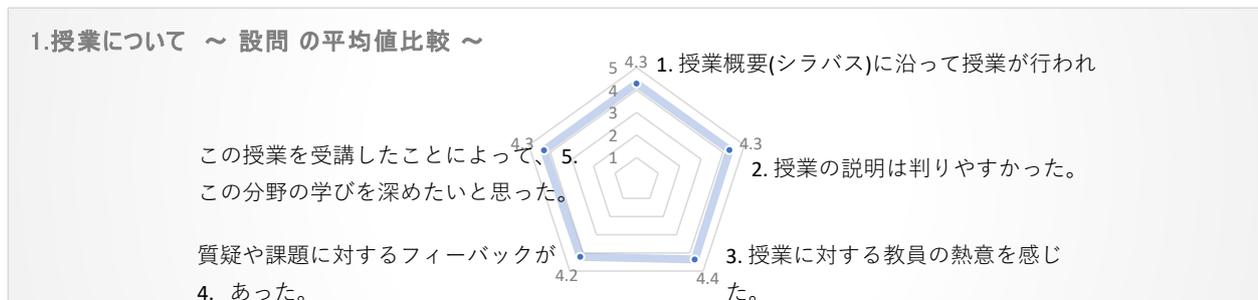
①現状(アンケート結果に対する考察)

授業の説明について9割以上の学生が「わかりやすかった(とてもそう思う・そう思うの合計)」と回答していた点はよかった。また、熱意についての回答も9割以上が「感じた」と回答していることから、熱意が伝わったことも嬉しく思う。反面、授業を受講して「この分野の学びを深めたい」と思った学生は、7割6分と落ち込んでいた点は力不足であったと反省が残る。また、授業時間外の学習時間について、全くしていないと回答した学生が3割以上いたことについては、(並行して担当していた保育実習指導 I の方で授業外に課した課題が多かったこともあり学生の負担のバランスを考慮して)本授業では宿題としての課題を少なくした設定したことが影響していると考えられる。予習や復習を含めた時間外の主体的な学びを促すためには「提出課題」として提示することが必要であったと考えられる。

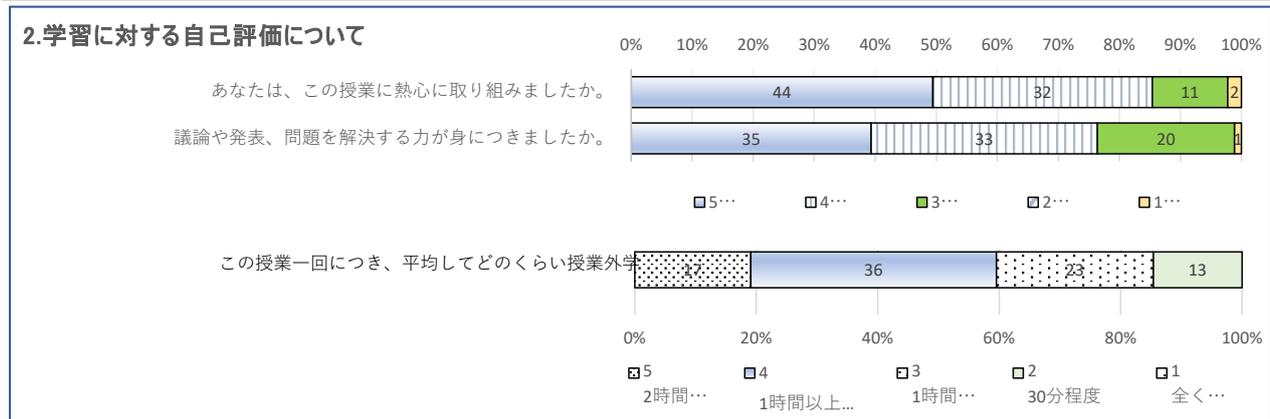
②課題と展望(授業改善方策)

今後も学生にわかるように授業教材を準備し、展開していくことは今後も継続していきたい。反面、今後は、この分野の知識を増やすことに終始せず、興味をもってもらえるような工夫や時間外にも学びに向かえるような課題設定を工夫していくことが必要であると考えられる。

設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	47	27	12	0	3	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	50	23	12	2	2	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	54	20	11	1	3	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	45	23	19	0	2	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	44	29	15	0	1	4.3
総平均							4.3



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	44	32	11	0	2	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	35	33	20	0	1	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してい ない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	17	36	23	13	0	3.6



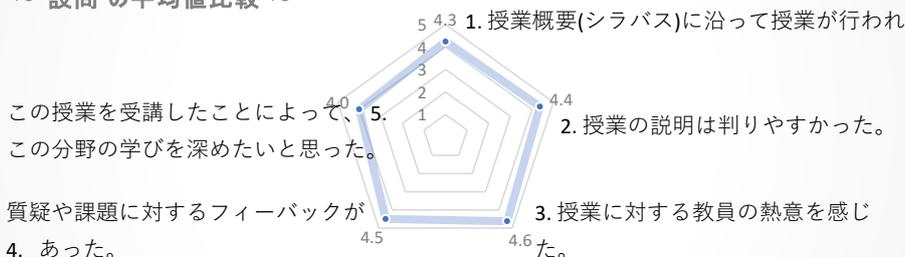
アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
 設問 I における質問項目への回答の総平均は4.3ポイントであった。概ね良好な結果だと考えられる。設問 I には5つの質問項目が設定されており、それぞれの質問項目への回答の特徴として、最も高いポイントの「とてもそう思う」の回答が最も多い傾向にあり、「そう思う」「普通」へとポイントが下がるにつれ回答数も減っていく傾向にあるが、「(4) 質問や課題に対するフィードバックがあった」では、「そう思う」と「普通」の回答数について、他の4つの質問項目と回答の傾向が若干異なっていると考えられる。

②課題と展望(授業改善方策)
 授業は、ピアノ個室での個人レッスンと、ML教室・音楽室での弾き歌い発表、を中心に進められている。これまで、個人レッスン、弾き歌い発表、それぞれにおいて授業内での担当教員によるフィードバックは行われていたが、学生が求めるフィードバックと教員の考える学生にとって必要なフィードバック、それぞれの内容に差異が生じていることも推測される。「(4) 質問や課題に対するフィードバックがあった」について、「普通」の回答数を減らし、「そう思う」もしくは「とてもそう思う」の回答数を増加させるための取り組みについて、検討が必要だと考えられる。

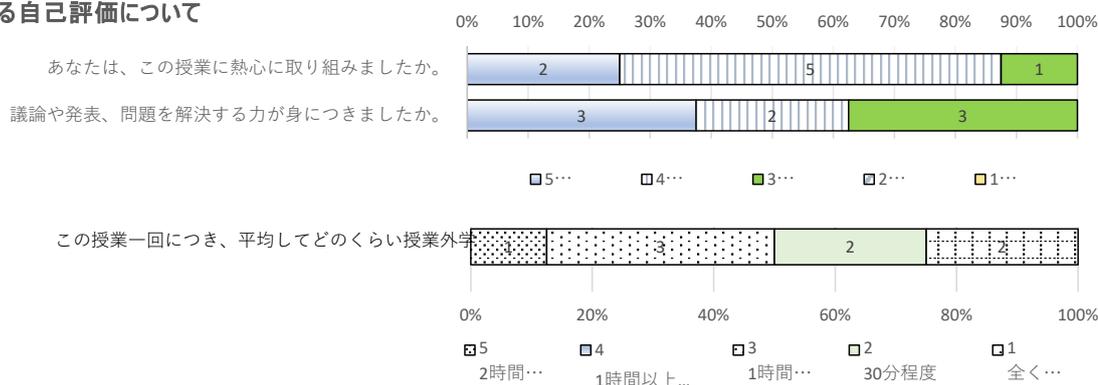
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	3	4	1	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	3	1	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	6	1	1	0	0	4.6
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	5	2	1	0	0	4.5
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	3	2	3	0	0	4.0
総平均							4.4

1. 授業について ~ 設問の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	2	5	1	0	0	4.1
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	2	3	0	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してい ない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	0	3	2	2	2.5

2. 学習に対する自己評価について



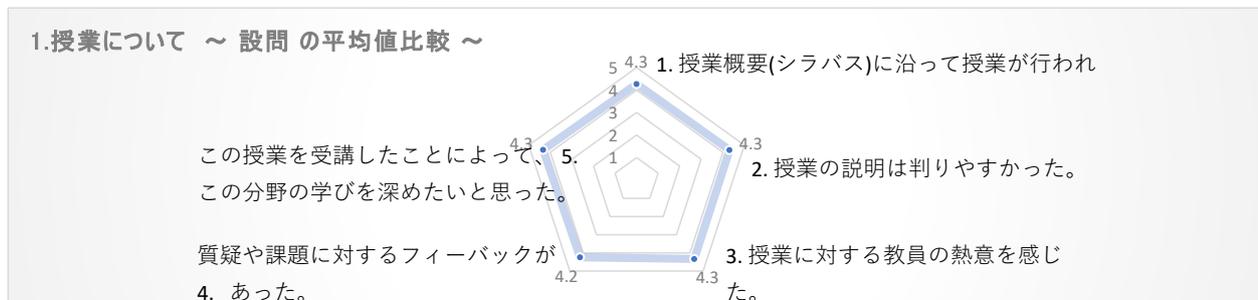
①現状(アンケート結果に対する考察)

保育実習指導 I (施設)については全15回の授業が終了していない。そのためか、回答数が極端に少ない。また、伊東先生ご担当の保育所実習で15回、古橋担当の施設実習で15回実施しているが、オムニバス形式ではないため、それぞれが全15回の授業計画を立てて授業を行っている。どちらへの回答かが明確ではないため、アンケート結果からの考察は困難である。

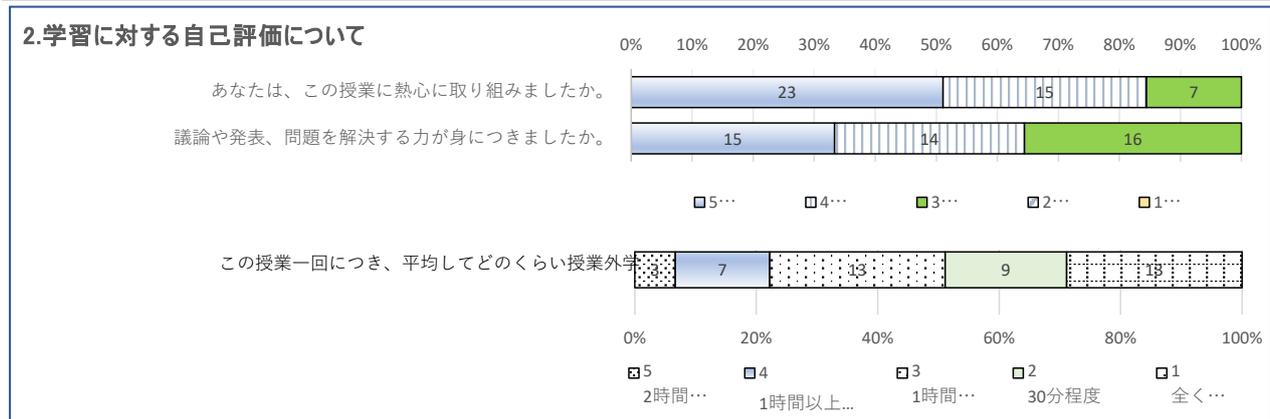
②課題と展望(授業改善方針)

現状では、授業の最終回が終了していない段階ではある。本来であれば、各担当ごとの全15回の授業について、全授業終了後の回答から授業の振り返りを実施し、授業改善に役立てたい。

設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	21	15	9	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	21	17	7	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	22	16	7	0	0	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	21	15	8	1	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	23	14	8	0	0	4.3
総平均							4.3



設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	23	15	7	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	15	14	16	0	0	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してい ない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	3	7	13	9	13	2.5



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

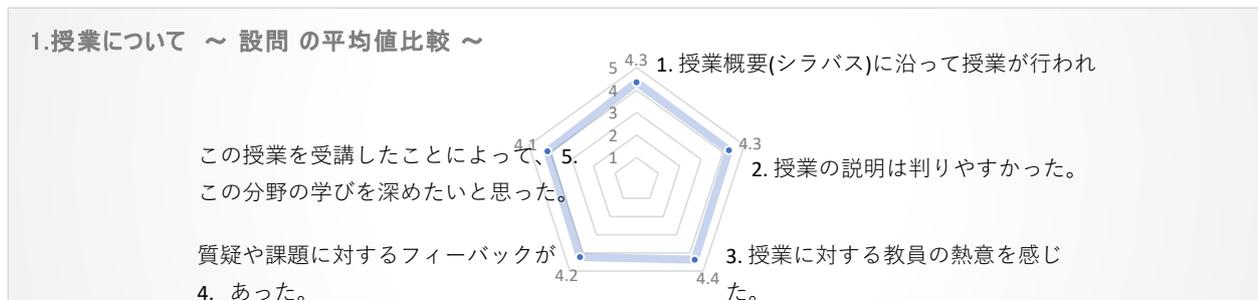
当該科目は、教育実習 I (1年次: 観察・参加実習) の事前・事後指導として開講されている科目である。教育実習 I は、学生にとって初めての実習となることから事前指導では、社会人としてのマナーや実習に必要な手続きなど基本的な事柄が中心となった。アンケートの結果をみると、全体平均よりやや低い値となった。中でも設問 I - (3) と設問 II - (2) は 0.2 ポイント低くなっていた。これは、当該授業は約 90 名を一括 2 名の教員で行ったため、学生との応答的な授業が行えなかったこと、細かい指導が行き届かなかったこと、個々の課題には取り組んだがグループワークが行えなかったことが要因と考えられる。

②課題と展望(授業改善方策)

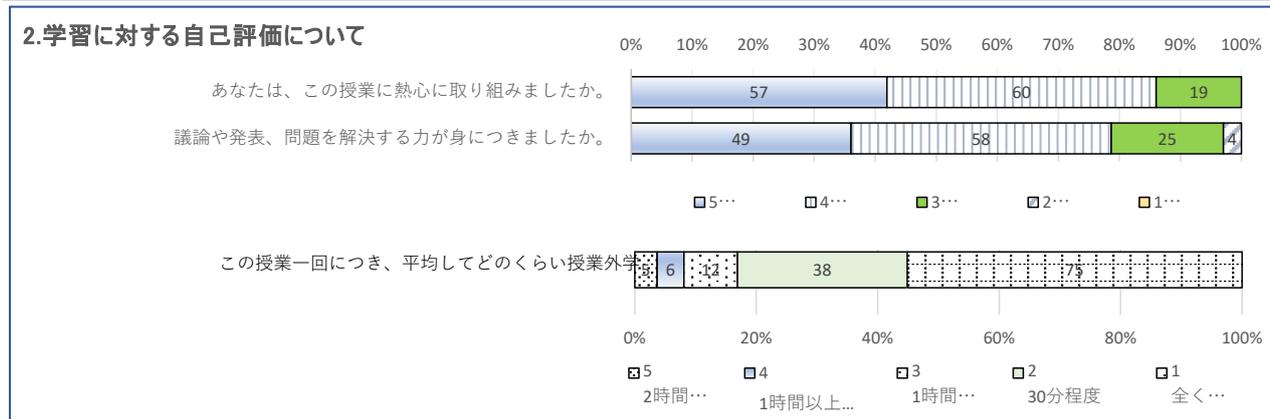
アンケートへの回答者数が約半分少なかった。これは、授業者が授業内での実施を失念しており、授業終了後に回答を促したためである。授業内で本アンケートの意味を説明し、実施していきたい。

学生にとってはじめての実習は不安なことが多いと思われる。今年は、約 90 名を一括授業であったが、次年度は学年を 2 分割にして実施していきたい。これにより、学生との応答的な授業、およびグループワークが行いやすくなると思う。

設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	66	51	19	0	0	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	59	57	20	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	67	53	16	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	56	58	20	2	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	47	63	23	3	0	4.1
総平均							4.3



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	57	60	19	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	49	58	25	4	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してい ない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	5	6	12	38	75	1.7



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
1年生にとって、2年生の姿に直接接する場面は、極めて緊張する分、得るものも大きいものと思われる。「5.とてもそう思う」「4.そう思う」がさらに多くなるよう、先輩との接点をどれだけ多くできるか、限られた時間の中でどれだけ卒業研究の「試行」ができるか、ゼミごとにゼミの特性を生かして工夫する必要がある。

②課題と展望(授業改善方針)
(「卒研ゼミ」のコメントと共通するが)それぞれのゼミが、研究課題の設定や研究方法の工夫についてどのように取り組んでいるのか、FDなどの機会に情報交換をしてみることで、より充実したゼミの活動が展開できるのではないだろうか。その中で、プレゼミに対するゼミごとの取り組み方も情報共有できるのではないだろうか。

設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	328	268	139	4	14	4.2
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	303	274	133	23	20	4.1
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	368	241	129	5	10	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	300	288	141	11	13	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	315	266	145	15	12	4.1

総平均 4.2

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~

この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。
質疑や課題に対するフィードバックがあった。

1. 授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。 (平均: 4.2)

2. 授業の説明は判りやすかった。 (平均: 4.1)

3. 授業に対する教員の熱意を感じた。 (平均: 4.3)

4. 質疑や課題に対するフィードバックがあった。 (平均: 4.1)

5. この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。 (平均: 4.1)

設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	353	253	132	7	8	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	306	285	148	7	7	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	48	45	116	288	256	2.1

2. 学習に対する自己評価について

あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。

議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。

この授業一回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

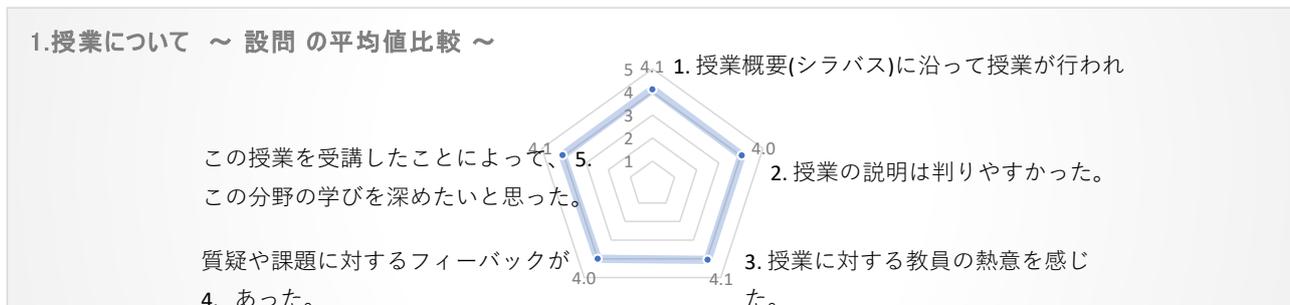
5 4 3 2 1

5 4 3 2 1

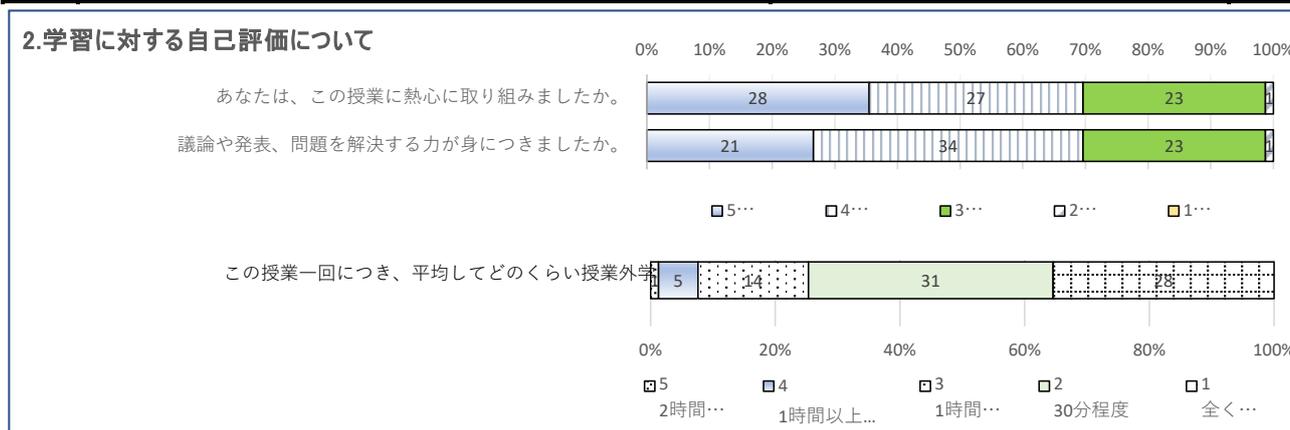
5 2時間... 4 1時間以上... 3 1時間... 2 30分程度 1 全く...

設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	28	32	19	0	0	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	26	32	20	0	1	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	26	32	20	1	0	4.1
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	24	32	22	1	0	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	27	31	20	1	0	4.1

総平均 4.1



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	28	27	23	1	0	4.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	21	34	23	1	0	3.9
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	5	14	31	28	2.0



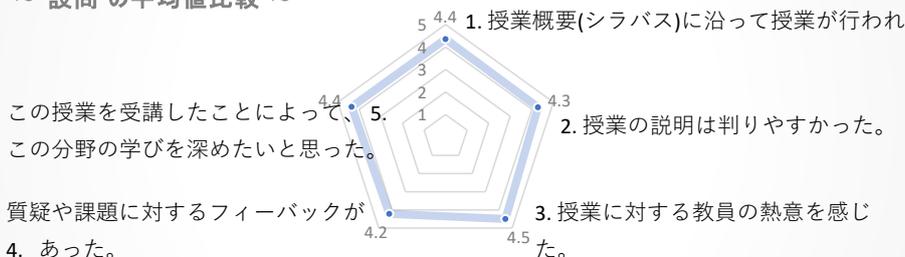
アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
総合的にある程度の評価は得られたように思う。次年度以降も授業内容がより充実するように準備に取り組みたい。

②課題と展望(授業改善方策)
学生の自己評価をみても問題解決能力に対する取り組みが薄いように感じる面もあるので、次年度からは学生のディスカッションや発表を取り入れた授業を展開していきたい。
また、実際に子どもや親への援助のとりくみの様子も事例として取り入れていく。

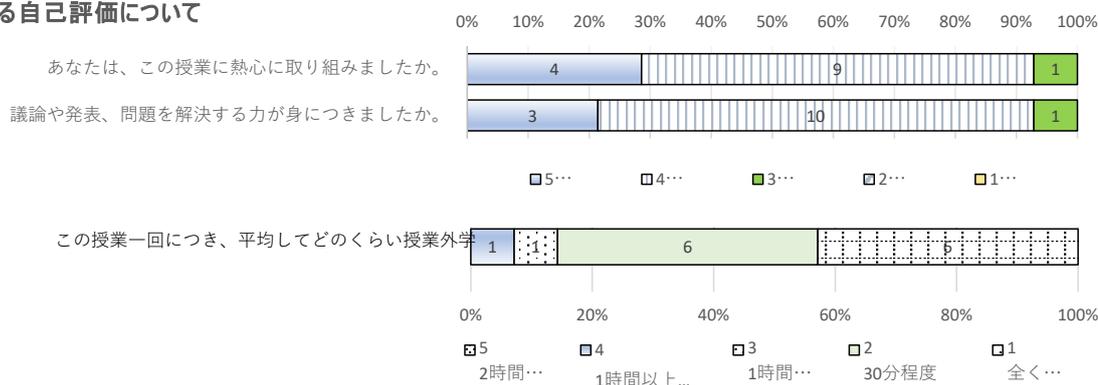
設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	6	7	1	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	6	6	2	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	9	3	2	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	4	9	1	0	0	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	7	5	2	0	0	4.4
総平均							4.3

1. 授業について ~ 設問の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	4	9	1	0	0	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	3	10	1	0	0	4.1
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く して ない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	1	1	6	6	1.8

2. 学習に対する自己評価について



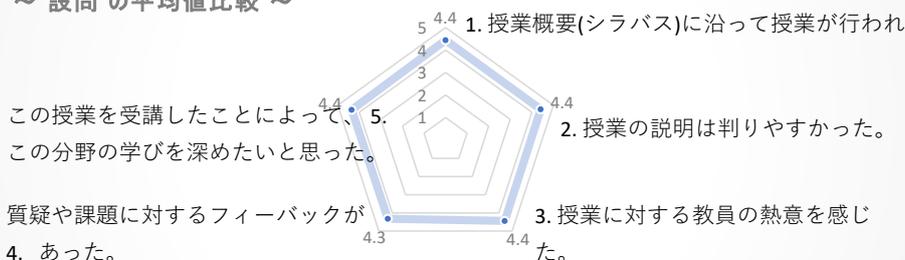
アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
対象者91名に対してアンケート提出者は14名、提出率は15.4%と極めて低い。その中で評価として授業時間内の取り組みについては時間内でのレポートを毎時間ごとに提出を求め、授業内容の習得度は良好であった。一方、授業時間外の学習時間について極めて低いことは、ほかの科目での事前課題等もあるなかで、時間数にとらわれず時間外での学習ができる課題や取り組みの提案が望ましいと考える。

②課題と展望(授業改善方針)
コロナ禍での授業もオンラインから対面へと移行したが、グループワークでのディスカッションやロールプレイの場面で感染対策のために消極的になりがちだった。時間内に記録した授業レポート提出により、毎回の習得度を確認し、質問に対しての回答と次回授業で全員への共有をしてきた。後期授業では保育実習と重なり、演習科目であるのに公欠でレポート提出で実技を実際に練習して体得することが十分と思われなかった。前期授業に移行する、あるいは授業をビデオ記録しておくなど工夫することが望ましい。

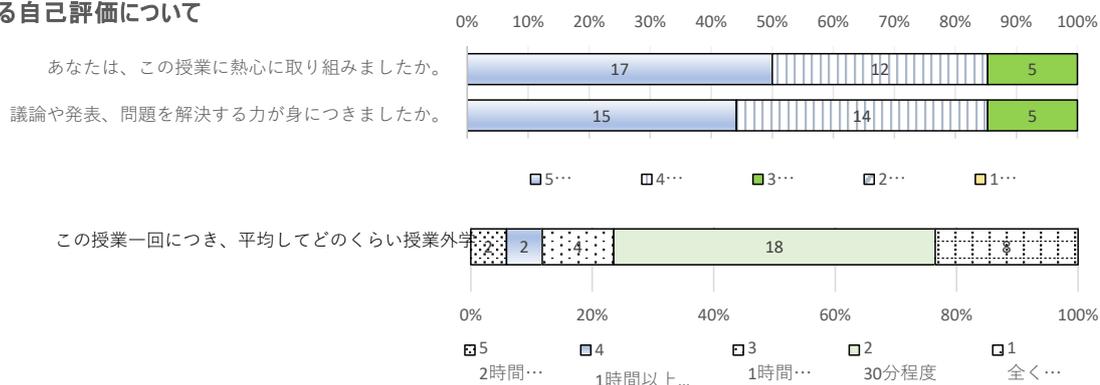
設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	19	11	4	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	17	14	3	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	18	13	3	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	14	17	3	0	0	4.3
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	16	14	4	0	0	4.4
総平均							4.4

1. 授業について ~ 設問の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	17	12	5	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	15	14	5	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してい ない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	2	2	4	18	8	2.2

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

コロナウイルスの状況が落ち着きつつあり、今年度はグループ討議や発表に重点を置くことができた。また、レポートの内容に工夫を凝らし在宅での学びを促したが、設問Ⅱ(3)在宅外学習(予習復習)に「全くしていない」と「30分程度」と答えた学生が26名もいたことは、今後の対策が必要、と痛感した。

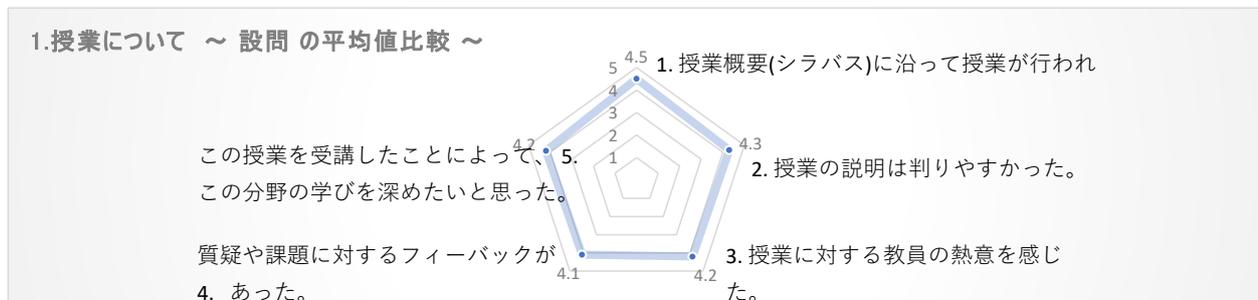
設問Ⅰ(5)の「この分野の学びを深めたいか」の設問について、34名中30名の学生が「5」と「4」に付けたことは評価したい。興味を持ってもらうことが学びの原点であり、きっかけを与えられたことはこの授業の目的の1つが達成できた、と理解した。

②課題と展望(授業改善方策)

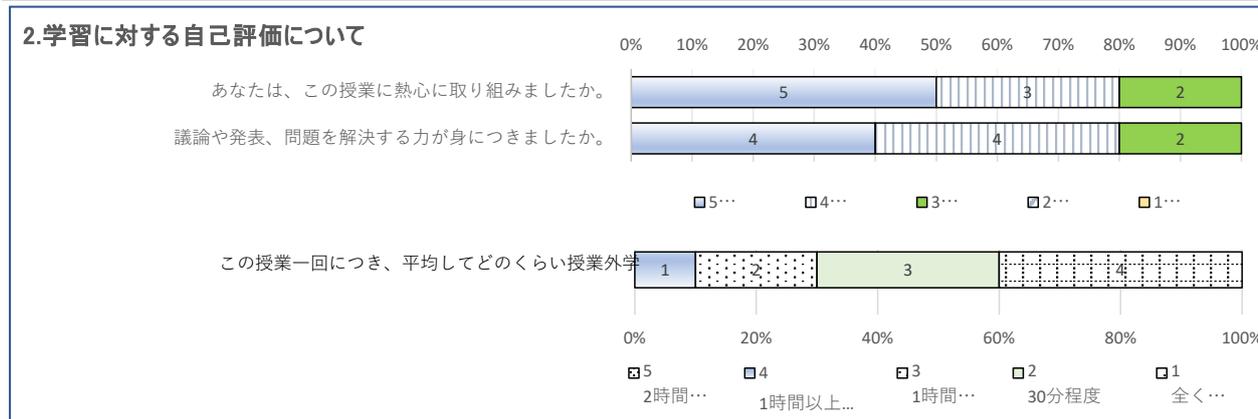
学習は、予習復習があってこそ理解の定着が図られる。いかに時間外の学習に興味を持って取り組むことができるかが鍵である。課題は、学生にとって身近で馴染みやすい内容にする必要がある。課題に真摯に取り組むことで生じた疑問や質問をいかに適切に表現するか、を今後の課題にしたい。

今年度は、グループワークを実施したことにより学生同士の討議、考察及び発表に取り組むことができた。設問2(2)の討議や発表、問題を解決する力が身についたか、に29名が「とてもそう思う」「そう思う」に答えたことは評価できる。今後も同様の取り組みを継続したい。

設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	5	0	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	5	1	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	4	4	2	0	0	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	4	3	3	0	0	4.1
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	4	2	0	0	4.2
総平均							4.3



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	5	3	2	0	0	4.3
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	4	4	2	0	0	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してい ない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	1	2	3	4	2.0



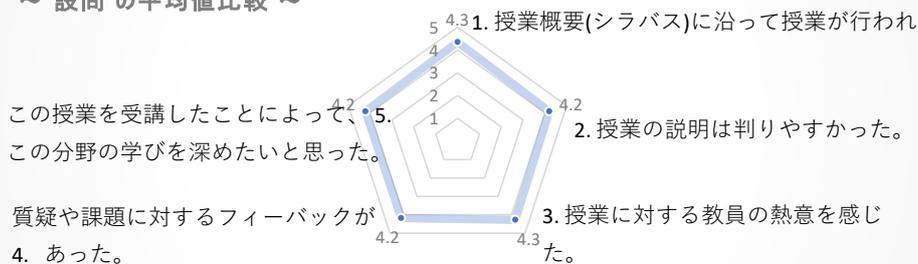
アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
この授業に対して熱心に取り組んだとする学生の割合が高く、問題解決能力も身についたとする回答割合が高いことから、演習形式の授業としてグループ討論をこれまでより多く導入した成果が現れたものと思われる。その一方で、時間外学習の時間が少なく、「全くしていない」という回答の割合が高いことから、各回の授業内容が授業時間内で完結してしまったように学生に捉えられてしまったものと思われる。

②課題と展望(授業改善方針)
まず、熱心に取り組んだ学生が多いことから、今後もグループ討論を積極的に取り入れていきたい。その中で、学生が授業時間外にも主体的に学習するような授業内での問いかけであったり、課題の与え方を工夫していきたい。

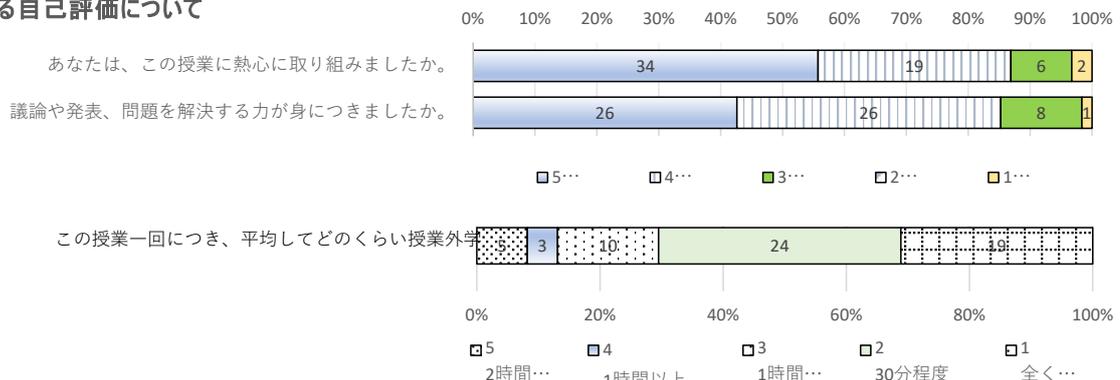
設問 I	項目	5 とてもそ う思う	4 そう思 う	3 普通	2 あまりそ う思わ ない	1 そう思 わない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	32	22	5	0	2	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	26	25	8	0	2	4.2
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	30	22	7	0	2	4.3
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	24	28	7	0	2	4.2
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	28	24	6	0	3	4.2
総平均							4.2

1. 授業について ~ 設問の平均値比較 ~



設問 II	項目	5 とてもそ う思う	4 そう思 う	3 普通	2 あまりそ う思わ ない	1 そう思 わない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	34	19	6	0	2	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	26	26	8	0	1	4.2
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	5	3	10	24	19	2.2

2. 学習に対する自己評価について



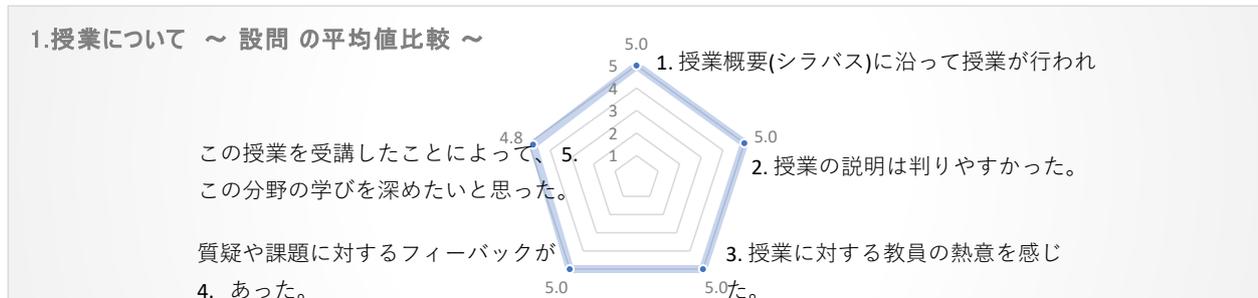
アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
 設問 I の授業についてのアンケート結果は、4.2ポイントという数字であった。この授業の意義を学生もとらえていたのではないかと考えている。設問 I (5)「この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。」に対しては4.2ポイントの評価があった。電子紙芝居等の新しい分野を意識した授業構成が評価されたのではないかと考えている。この分野の学習は、パソコンの操作技術の差も考慮しなければならない点である。また、電子紙芝居、クリスマス会等の個人、グループの発表の時間をつくり、具体的に評価することができたことはよかったのではないかと考えている。学生の自由記述の中にも新しい分野を学べてよかった、現場で役立つという記述が多く見られた。ただ、パソコンの技量に差があり、学習意欲の低下につながっている学生もいる。きめ細かい対応が必要である。

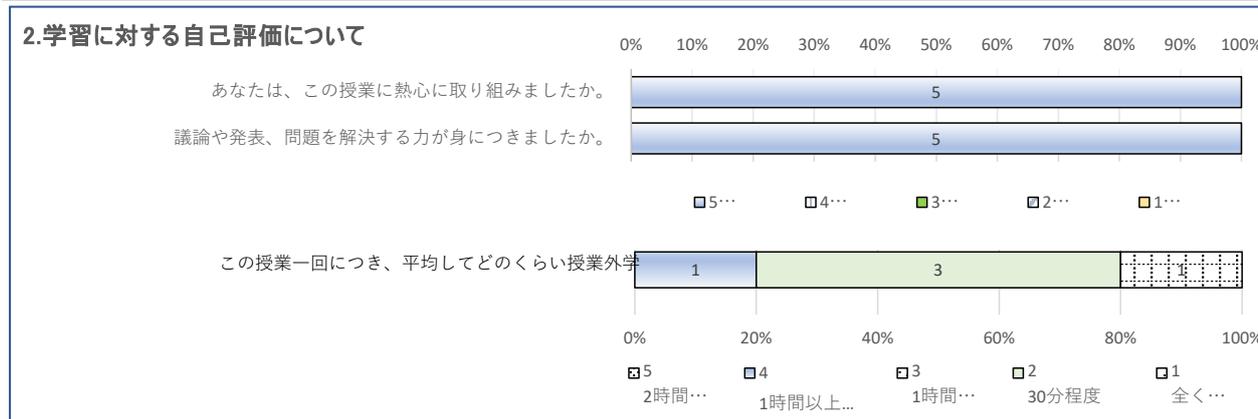
②課題と展望(授業改善方策)
 設問 II (1)「あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。」(4.5)と高い評価を得ている。前述したように、この授業では、自分で考え、作成する時間、発表する時間が多く、授業を重ねるごとに、学生の熱意を感じることができた。学生の違った一面を理解することができたのは大きな成果であったと考えている。楽しみながらパソコンに取り組んでいる学生も多かった。ハイレベルの作品を仕上げた学生も見られた。発表に対しては、発表に対する自己評価、他者評価を行い、記述後はコメントを入れ返却することができた。
 発表技術も年々向上しているように感じられる。OSもOfficeもどんどんバージョンアップし、変化が速い。パソコンを持たずスマートフォンやタブレットなどを使用する学生が多くなっている。そのことを踏まえ、パソコンでのキーボード操作や画像処理、スライド作成についての技術向上が課題である。

設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	5	0	0	0	0	5.0
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	5	0	0	0	0	5.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	5	0	0	0	0	5.0
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	5	0	0	0	0	5.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	4	1	0	0	0	4.8

総平均 5.0



設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	5	0	0	0	0	5.0
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	0	0	0	0	5.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してい ない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	0	1	0	3	1	2.2



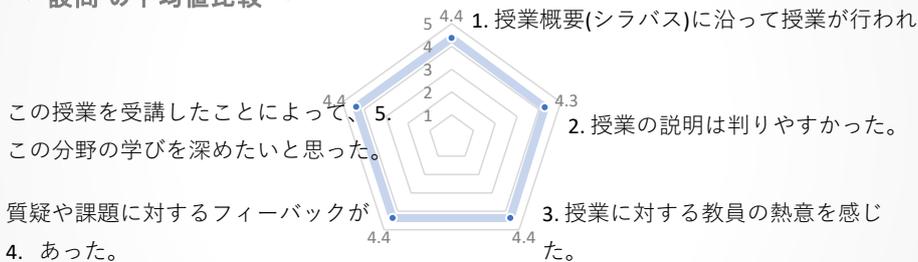
アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
 本年度の実習授業では、満足度の高い評価を得た。授業時間外学習としては、各回の実習ノートの作成を行い、復習・確認する機会を作り学生の学びに繋がると考える。これから園で働く時の園児とのコミュニケーションの一つになると感じた。

②課題と展望(授業改善方針)
 この実習ではグループワークを中心に他者とのコミュニケーションや協調性を持ち課題解決方法考えながら調理技術を学び、園での活用できる料理を考える。

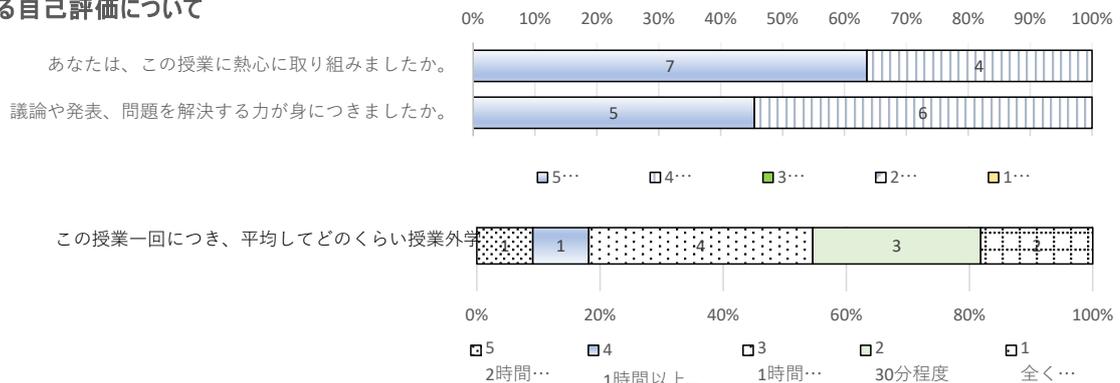
設問Ⅰ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	4	7	0	0	0	4.4
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	4	6	1	0	0	4.3
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	4	7	0	0	0	4.4
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	4	7	0	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	5	5	1	0	0	4.4
総平均							4.3

1. 授業について ~ 設問 の平均値比較 ~



設問Ⅱ	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	7	4	0	0	0	4.6
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	5	6	0	0	0	4.5
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く していない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	1	1	4	3	2	2.6

2. 学習に対する自己評価について



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)

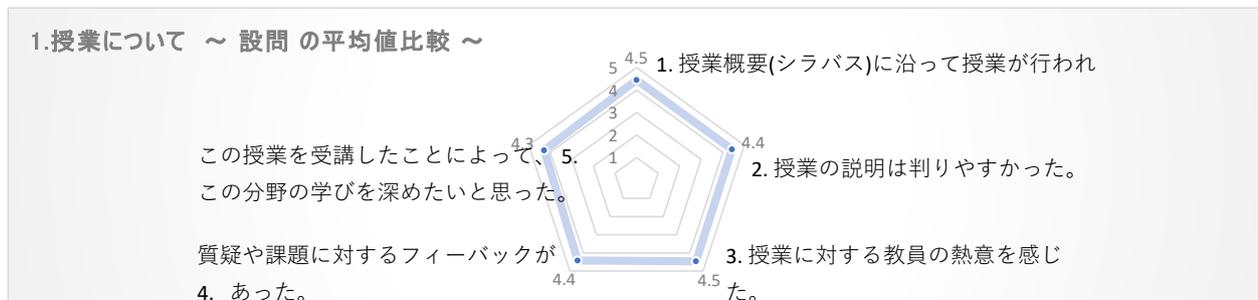
この授業を履修している学生は実習に行った経験などから必要性を感じて選択していると思われるので概ね真面目に取り組んでいた。後期の授業目標を達成できたクラスでは、シラバスにはない内容だが、ピアノとオルガンでのアンサンブルに挑戦してみた。新しい取り組みではあったが、音楽を聴く力、合わせる力、一つの曲を完成させる達成感や楽しさを引き出すことができたと思えた。歌唱指導については、まだマスクを外せない現状ではあったが、就職試験を意識した指導を行った。

②課題と展望(授業改善方策)

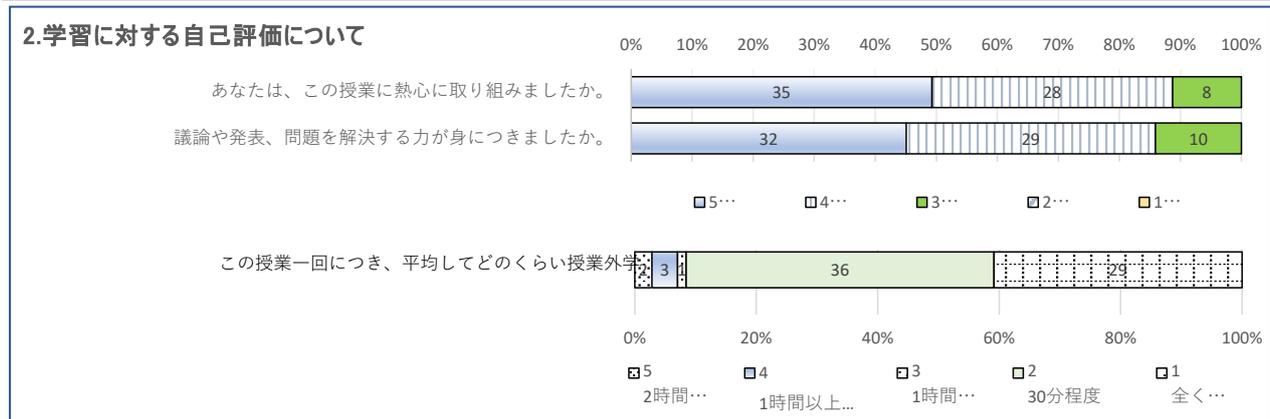
前期に学習した音楽の軸となる「音階」や「主要な三和音」を、さらに発展させて童謡の即興的な伴奏づけに活用できるよう繰り返し学習した結果、全員合格することができた。こうしたことはピアノ初心者にとっては1年間を通した繰り返しの演習で身につくものなので、前後期の1年間の履修を推奨したい。

授業時間外学習を行っていないという回答が見られるが、履修者が少なく個別指導をきめ細かく行えたことで、授業時間内に課題をクリアできた学生が多かったことも回答結果の一因と考えられる。しかし、実力としての技術を定着させるためには、毎日の自宅学習が必要不可欠であり、授業時間外学習も含めた単位であることを繰り返し声掛けするとともに、それが守れない学生には、1週間の中でやるべきことを細かく書いて指導することも行っていきたい。

設問 I	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	39	25	7	0	0	4.5
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	36	29	6	0	0	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	38	28	5	0	0	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	36	29	6	0	0	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	32	27	12	0	0	4.3
総平均							4.4



設問 II	項目	5 とても 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	35	28	8	0	0	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	32	29	10	0	0	4.3
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してい ない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業外学習(予習・復習)をしましたか。	2	3	1	36	29	1.8

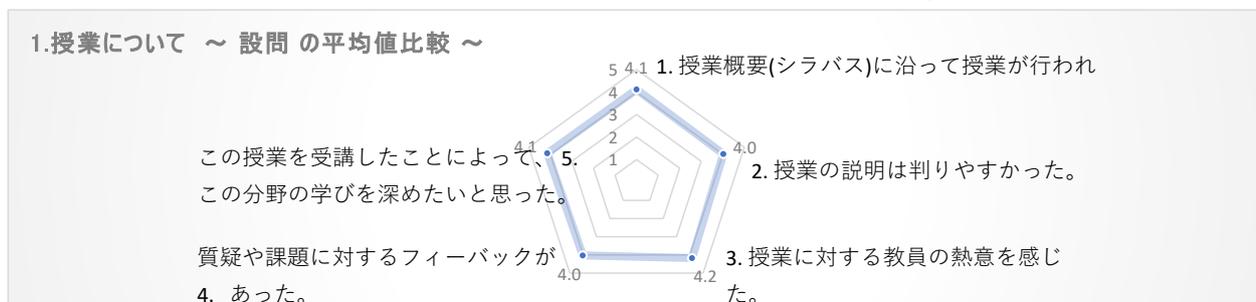


アンケートに対する教員所見

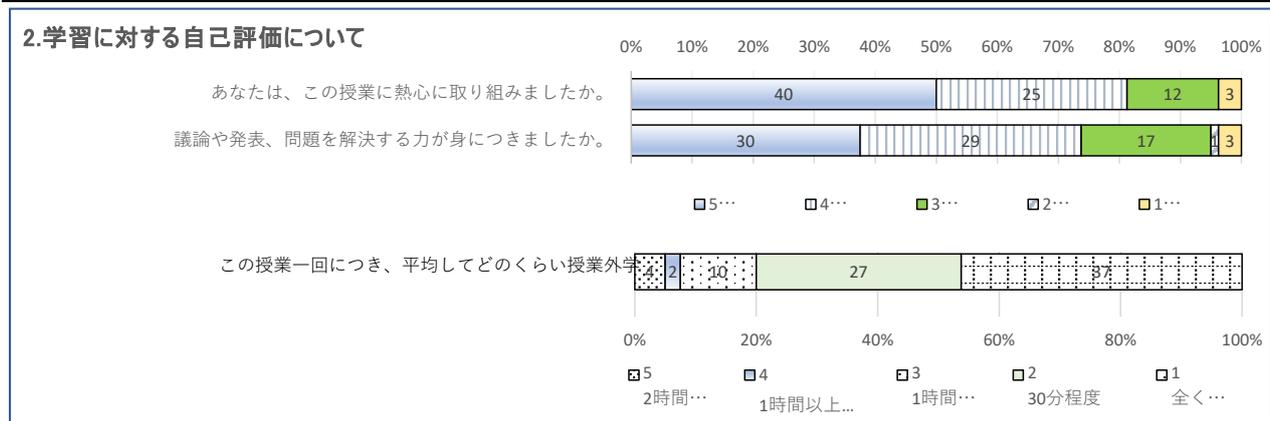
①現状(アンケート結果に対する考察)
 充実感、達成感をもって授業を振り返っている学生が多い。反面、授業外学習について、「30分程度」「全くしていない」と回答する学生の割合が他の科目よりも多い。学生の負担を考慮しつつ、これまで取り組んできた実習の総括という授業の趣旨にふさわしい課題提示が必要である。

②課題と展望(授業改善方策)
 実習発表会や遠足引率実習などの項目は、事前の準備や発表の準備に時間がかかるが、このあたりを中心に準備や振り返りのための時間外学修の設定を工夫してみる必要がある。

設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	36	23	18	0	3	4.1
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	28	33	14	3	2	4.0
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	33	32	13	0	2	4.2
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	27	33	18	0	2	4.0
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	34	28	15	1	2	4.1
総平均							4.1



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	40	25	12	0	3	4.2
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	30	29	17	1	3	4.0
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してい ない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	4	2	10	27	37	1.9

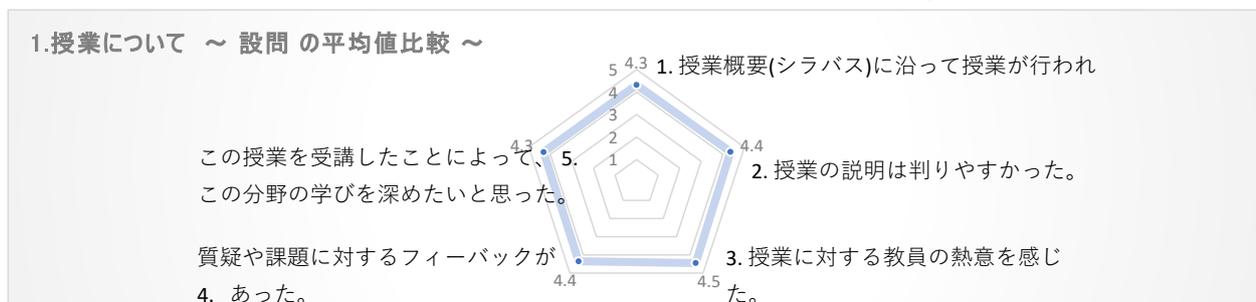


アンケートに対する教員所見

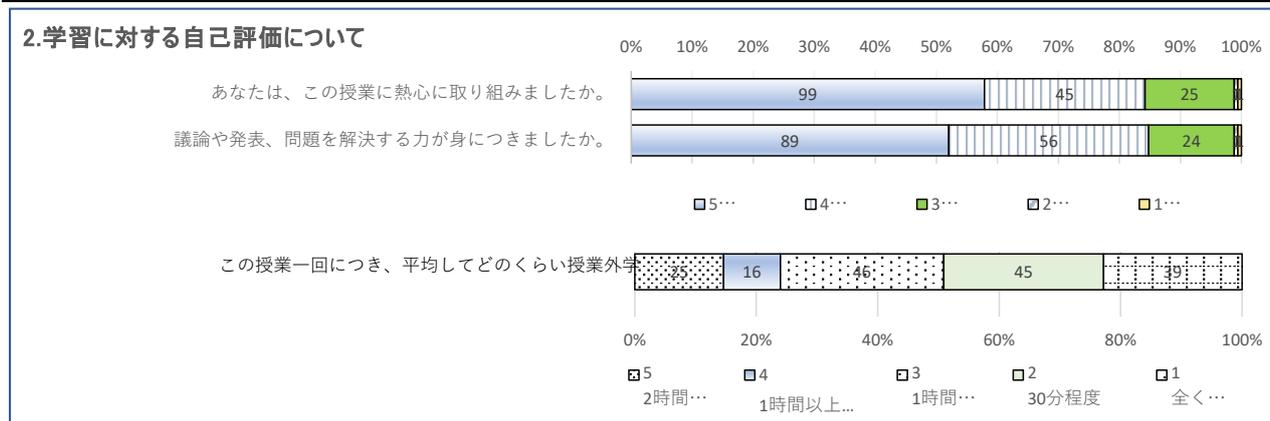
①現状(アンケート結果に対する考察)
 当該科目は、教育実習Ⅱ(2年次:責任実習)の事前・事後指導として開講されている科目である。教育実習Ⅱは学生にとって最後の実習となり、まとめの意味合いを持つ。そのため、学生が自身の学びを振り返り課題を見出せるような授業を行った。アンケートの結果をみると、全体平均よりやや低い値となった。中でも、設問Ⅱ-(2)は0.2ポイント低くなっていた。これは、当該授業は約90名を一括2名の教員で行ったため、学生との応答的な授業が行えなかったこと、細かい指導が行き届かなかったこと、個々の課題には取り組んだがグループワークが行えなかったことが要因と考えられる。また、「そう思わない」と回答した者が一定数いたことから、全てにおいて受け入れていない学生がいたと思われる。

②課題と展望(授業改善方針)
 今年は、約90名を一括授業であったが、次年度は学年を2分割にして実施していきたい。これにより、学生との応答的な授業、およびグループワークが行いやすくなる。これを通して学生が「議論や発表、問題解決する力が身にいた」と実感できるような授業を工夫していきたい。

設問 I	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	授業概要(シラバス)に沿って授業が行われた。	83	63	23	0	2	4.3
(2)	授業の説明は分かりやすかった。	90	56	23	0	2	4.4
(3)	授業に対する教員の熱意を感じた。	107	40	20	2	2	4.5
(4)	質疑や課題に対するフィードバックがあった。	92	52	24	1	2	4.4
(5)	この授業を受講したことによって、この分野の学びを深めたいと思った。	89	49	31	1	1	4.3
総平均							4.4



設問 II	項目	5 とても そう 思う	4 そう 思う	3 普通	2 あまり そう 思わ ない	1 そう 思わ ない	平均
(1)	あなたは、この授業に熱心に取り組みましたか。	99	45	25	1	1	4.4
(2)	議論や発表、問題を解決する力が身につきましたか。	89	56	24	1	1	4.4
	項目	5 2時間 以上	4 1時間以上 2時間未満	3 1時間 未満	2 30分程度	1 全く してい ない	平均
(3)	この授業1回につき、平均してどのくらい授業時間外学習(予習・復習)をしましたか。	25	16	46	45	39	2.7



アンケートに対する教員所見

①現状(アンケート結果に対する考察)
各アンケートについて「そう思わない」と答える学生が若干名存在する。研究テーマの選定、研究方法の検討、さらには卒研ゼミの所属振り分けそのものについても学科全体で問題を共有する必要がある。そのこと以外については、学生の達成感を引き出すゼミが展開できたようだ。

②課題と展望(授業改善方策)
それぞれのゼミが、研究課題の設定や研究方法の工夫についてどのように取り組んでいるのか、FDなどの機会に情報交換をしてみると、より充実したゼミの活動が展開できるのではないだろうか。